

基本情報



【年 齢】
33歳
【出身地】
山形県山形市
【転出元】
山形県山形市
【前 職】
会社員
【活動時期】
R6.5～R9.4

協力隊に応募したきっかけ

- ・応募した企業が、地域おこし協力隊の「雇用型制度」を活用していたことが直接のきっかけでした。
- ・楡葉町はそれまで縁もゆかりもない土地でしたが、東日本大震災により一時的に人口が0になった町でありながら、着任当時は人口の流入数が流出数を上回っているという状況に関心を抱きました。
- ・四季を感じながら比較的気候が安定している場所で暮らしたいという思いもあり、楡葉町での活動を選びました。

今後の抱負・任期後の目標

余所者として楡葉町に移住し2年間を過ごしてみて、「人脈」の大切さを強く実感しました。これまで置かれた環境の中で自然と生まれる人とのつながりが中心でしたが、今後はこれまで活かしきれていない資格の活用や、新たなコミュニティへの参加などを通じて、意識的に人脈を広げたいと考えています。そうしたつながりを通じて、楡葉町での取り組みや魅力を町外にも広く知ってもらおう機会を増やしていきたいと思っています。

活動内容

●ならはマルチワーク事業協同組合の活用と連携（無償DX支援）

弊社では、ならはマルチワーク事業協同組合に所属するマルチワーカー1名を受け入れ、バックオフィス業務を構造改善も含めて取り組んでいただいています。業務改善はもちろん、組合やマルチワーカーとの円滑な情報共有にはITの活用が不可欠であり、弊社としてはITツールの活用を提案し業務効率化を図るとともに、個人と会社が本取り組みを通じて成長できる環境づくりを進めています。マルチワーカーが安心して働ける環境づくりを実践することで「ならまる」と自社の相互発展、そして町の活性化につながることを願っています。

●所属企業の事業拡大業務（収益化事業）

先輩協力隊3名が卒隊し、会社の維持存続、そして自分自身の生活のためにも収益化・自走化に向けた取り組みをより一層進めていく必要性を実感しました。新規事業の開発にあたっては、1社単独で進めるのではなく、グループ会社や町内外企業との連携を図ることでスケールメリットを生み出す取り組みを進めています。今後も関係者との調整や事業推進、事業管理に注力していきます。

●地域貢献活動（地域貢献活動）

小浜下りや木戸川あゆまつりへのイベント参加のほか、美化活動や立哨活動、機能別消防団の活動などに参加し、地域の一員としてできる範囲で地域活動に参加しました。また、農業体験ツアー等で来町された方々との意見交換にも参加しました。地域住民の拠りどころとなる施設の開発の一環として、町内飲食店のオープンに向けたリノベーション活動を行いました。今後も継続的に関わっていきます。



連絡先